

# みんなの広場

PATIOとは「中庭」という意味。  
町民の皆さんが集い、自由に意見を語り合う広場です。

## ひとつひとつ

### 町外からも 邑楽町のことが知れる

PN えはしゅん  
桐生市に住んでいます。広報おうらで邑楽町のお店などを知ることができています。

橋本まゆみさん(館林市)  
いつも「ORATOWN」楽しみに読んでいます。邑楽町は図書館が充実していて、あいあいセンターでおいしい野菜やお惣菜が買えて、足しげく通っています。

### 3万球のLEDが彩る タワーの輝く姿に

PN peach juice  
裏表紙に載っていたイルミネーションイベントの記事。家から見えるタワーの輝く姿が、いつもすてきだと感じています。3万球のLEDが使われているなんて、びっくりです。



幻想的な空間も楽しめるシンボルタワーのイルミネーションは1月23日⑥まで開催中

### オーランドさんが 可愛い♡♡

中村安子さん(明野・34区)  
オーランドさんがとてもかわいくて、いろいろなグッズが欲しくなりました。

藤真弓さん(藤川・16区)  
オーランドさんのネーミングとイラストが大変かわいくできています。イラストは冬バージョンだけですか？

【商工振興課より】  
オーランドさんへのご感想ありがとうございます。オーランドさんはコハクペイイメージキャラクターとして生まれました。今後も地域経済の活性化のために、いろいろなお店に登場すると思いますので、さまざまなオーランドさんをお楽しみいただければと思います。



コハクペイイメージキャラクター  
▲オーランドさん

### クイズの答えを探して 紙面を見て、知れた

長谷川 一郎さん(店高原・28区)  
広報おうらクイズの答えを探すごとで、紙面見るきっかけに。今回は町内の文化財のことも知ることができて、良い機会になりました。



金井 詩緒莉さん  
莉乃ちゃん(2歳8か月)・瑛大くん(5か月)  
(住谷崎・21区)

元気で活発な莉乃ちゃんは外で遊んだりおにぎりを食べたり、絵本を読んだりすることが大好き。最近では手先が器用になって、洗濯干しなど家事を手伝ってくれるようになりました。弟が生まれてからは、手をぎゅっと握ったり髪をなでてあげたりと、弟をかわいがるお姉ちゃんらしさが少しずつできてきたみたいです。これからお友達もたくさんつくって、思いやりのある優しい子に育ってね。

## ORATOWN Quiz 広報おうらクイズ

クイズに答えて GET しよう  
はがき、または電子申請から応募してください。全問正解者の中から、抽選で10人に500円の図書カードをプレゼント。

- 【今月の問題】
- 第1問 町所蔵の指定〇〇を一挙公開の邑楽町〇〇展 (ヒント 21ページ)  
A.オーランドさん B.広報おうら C.文化財
- 第2問 トライアル・サウンディングを実施する施設はどこ？ (ヒント 裏表紙)  
A.中央公民館 B.シンボルタワー C.あいあいセンター

【アンケート】

Q1 広報おうらで取り上げてほしい企画や内容を教えてください  
Q2 広報おうらに関する意見や感想を教えてください

応募方法 はがきに、答え(例:第1問-A)・住所・行政区・名前・年齢・  
ひとことまたはアンケートの回答を書いて郵送する

宛先 〒370-0692 邑楽町役場企画課「広報クイズ」係  
締切 1月19日⑥(当日消印有効)※当選者は広報おうら次号で発表。

【12月号の当選者】(応募数37通、全問正解37通)  
永井伶(6区) 亀井絵梨奈(6区) 塚原京子(6区) 佐藤朱(7区)  
久保田彩楓(11区) 常見蘭(11区) 間庭一樹(13区) 井上千代子(17区)  
須藤由美(28区) 増尾春美(28区) ※敬称略

●あて先 〒370-0692 (住所は不要) 邑楽町役場企画課広報広聴係  
☎ 47-5007 ☎ 89-0136 ✉ koho@swan.town.ora.gunma.jp  
※誌上匿名はOKですが、記念品発送などに必要ですので、必ず実際の名前・住所・年齢・電話番号をお書き添えください。

### 俳句 文芸

そばを刈る夕日に動くコンバイン 小林なみ子 茶の花やするりと落ちる雨の粒  
短日や余生余さず使い切る 砂川 登一 なにげない日々の幸せ枇杷の花  
午後四時の駅舎に明り暮れ早し 小貫 榮子 黒大豆出逢いて人生前向きに  
大根の輪切り大きく生き上手 中村 静江 口笛を吹く寂しさよ紅葉宿  
椋線を歩く人影冬木立 吉田 和子

### 短歌

お正月みかん食べては皮あつめお風呂に入れて温泉気分 大川いく代  
明けまして松竹梅の晴れ姿何分よろしくお願ひします 遠水 克子  
枯れ草を燃やしてをれば紫蘇は紫蘇菊は菊の香それぞれ放つ 真下 君子  
末期がなんなりとも患者により添いて心のケア説く町医者も在り 中島 弥市  
はや師走朝から地震二度三度びつくり起床ニュース騒つく  
通知表聞く思ひに健診の結果を見つつ胸撫で安堵す  
シクラメン冬の縁側五鈴ほど煙が送るや年毎ふえて 遠藤 博道

## 投稿募集

①イラスト・絵手紙 ②4コマ漫画 ③詩・ポエム ④短歌・俳句  
⑤告知コーナー (イベント案内やメンバー募集など)  
ご質問・ご意見は、はがき・電話・FAX・Eメールなど、どんな方法でも結構です。掲載者には粗品を進呈します。

## まちかど 情報板

### 職業訓練(ハローワーク)説明会

ハローワークでは毎月、職業訓練説明会を開催しています。支給要件を満たせば、月10万円の給付金を受けながら無料の職業訓練が受講できます。支給の要件など詳しくはお問い合わせください。

【期日】1月17日⑥、2月14日⑥、3月14日⑥  
【時間】午後2時~3時30分  
【会場】ハローワーク館林(館林市大街道)  
【その他】LINEで職業訓練の他、面接やセミナーなどの情報も配信しています。

LINE ID: @uwe9671g

### 募集 館林第九合唱団員

【活動日】毎週木曜日 午後7時~9時  
【会場】館林市三の丸芸術ホール(館林市赤羽)または館林市赤羽公民館(館林市赤羽)  
【内容】東京藝術大学の多田羅迪(多田)名譽教授の他、指導者から発声法発音・パート練習などを行う  
【会費】会費代は別 一般 1万8,000円 大学生以下 無料  
【申込方法】令和4年1月13日⑥以降の毎週木曜日の練習時に直接申し込む  
【問合せ先】館林第九合唱団(篠村) ☎ 080-1553818619

### 県緑化センター主催講座

講座	第9回緑化講座	日曜緑化講座	第10回緑化講座
日時	2月3日⑥ 午前10時~正午	2月13日⑥ 午前10時~正午	2月24日⑥ 午前10時~正午
場所	県緑化センター	県緑化センター	県緑化センター
テーマ	知っておきたい落葉樹の剪定	ハナミズキやサルズベリなど花木類の剪定	そこが知りたかった庭木や果樹の病虫害防除
定員	16人(先着順)	16人(先着順)	16人(先着順)
申込開始	1月17日⑥	1月31日⑥	2月7日⑥
申込・問合せ先	県緑化センター ☎ 88-7188		

### 経営セミナー参加者

町商工会青年部では、マネジメントに関する勉強会を開催します。今回は、元ソフトボール日本代表として活躍されていた、三科真澄氏を講師にお招きし、実施します。

【日時】1月24日⑥午後7時~  
【会場】町共同福祉施設  
【定員】30人(先着順)  
【内容】オリンピックメダリストから学ぶチームのマネジメント  
【講師】三科真澄氏  
【申込方法】電話で申し込む  
【申込・問合せ先】町商工会 ☎ 88-10082

三科真澄 ●元ソフトボール日本代表で北京五輪金メダリスト。現在はキッチンカーを運営

広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面
広告面	広告面

事業に参加する事業者  
随時募集中

右記QRコードまたは  
役場商工振興課(☎47-5026)まで

募集ページ

「がんばる!!会社お店PR応援事業」に参加する事業者を紹介する、期間限定のコーナーです。

PR

ORA TOWN  
町ホームページ連動企画

No.08

がんばる!! 会社お店 応援事業 Company and store PR support project



鮮やかな青空色がトレードマークの移動写真スタジオ「青空写真館」



石毛さんは「私は今までに自分身の写真をあまり撮っていません。写真を撮る上で心掛けていたのは、その人らしさを大切にすること。写真を撮るとなるとこわばってしまう人もいたので、ちょっとした会話など緊張をほぐして、普段通りのその人の良さを出せるようにしています」と話すのはLIFE代表の石毛尚子さん。石毛さんは婚礼写真会社での勤務経験やフリーカメラマンとして24年間の経験を持つほかにも、これまでに個展を15回開催するなど、確かな経験と実績を有する女性カメラマンだ。

大切な人との思い出に写真を残しておきたいけど、なかなかスタジオに行くことができないという人も少なくないのではないだろうか。そんな人にオススメしたいのが出張撮影専門フォトグラファールIFEだ。LIFEに撮影の依頼をすれば、移動写真館を兼ねている青空色の車で場所を選ばずに、プロのカメラマンが関東圏内のどこへでも出張撮影に対応してくれる。

## 過去から今・未来へ大切な人を繋げる仕事

「写真を撮る上で心掛けていたのは、その人らしさを大切にすること。写真を撮るとなるとこわばってしまう人もいたので、ちょっとした会話など緊張をほぐして、普段通りのその人の良さを出せるようにしています」と話すのはLIFE代表の石毛尚子さん。石毛さんは婚礼写真会社での勤務経験やフリーカメラマンとして24年間の経験を持つほかにも、これまでに個展を15回開催するなど、確かな経験と実績を有する女性カメラマンだ。

撮っていたいなかった、自分が母となって家族写真に取り組みようになってから「あの時に写真を撮っておけば良かった」と後悔することがよくあります。だから、皆さんには後悔をしないように、大切な人との「今」の写真を残して欲しいと心から思います。そうして写真を残すことで、世代を超えて大切な人たちの繋がりを残したいです。そして、写真を通して家族が繋がって、新しい家族の思い出を作っていくのですね。何かの記念の折りではなくても写真を残しましょう。いつでも好きな時にお好きな場所へ伺います」と、自身の写真に対する思いを話してくれた。

出張撮影専門  
フォトグラファールIFE

☎070-8467-5077

ouramachipho@gmail.com

QRコード (ホームページ)

QRコード (Instagram)

代表 石毛 尚子さん



### 若者紹介



神谷 大豪さん 18歳  
Kamiya Daigo (光善寺・15区)

■現在は何をしていますか?  
埼玉県の大学で建築を勉強している大学1年生です。大学生になってからは母校の邑楽中学校でサッカー部のコーチも務めています。

■なぜ、建築を学ぼうと?  
子どもの頃によく見ていたテレビ番組で、住宅の改装をビフォーアフターで紹介する番組があり、そこから建築に興味を持つようになりました。その後の高校選択も工業高校で建築学科に進み、今も大学で建築一筋で勉強しています。

■将来の夢は?  
今目指しているのは、照明や内装品などの配置を工夫することで、室内外の空間をより快適に過ごしやすいデザインする「空間デザイナー」の仕事です。子どもの頃に憧れた「匠」のような仕事ができればと思います。また、小学生の頃から続けているサッカーについても、今後余裕ができたなら社会人のクラブに参加するなど、何らかの形で続けていきたいです。



# DREAM 夢